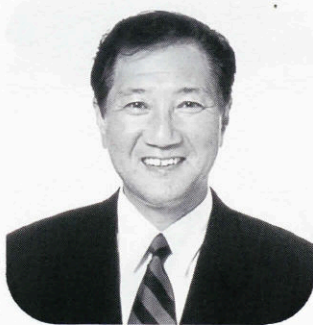


迎春

新年のごあいさつ

豊かに生きる意欲を持って
活気のある町づくりを

油谷町長 藤田 芳久



卯の年、平成十一年の新春を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

いつも町政へのご支援ご協力をいただき、深く感謝しているところであります。本年もなにとぞよろしくお願い致します。

ご承知のように、国も県も厳しい財政の下、当油谷町も一段と厳しさを増しておりますが、将来のためにも常に健全財政と云うことを念頭に置いた上で、先ず必要欠くべからざるものから対処すべきと考えております。当面は「阿惣ダム」完成に向

けて、順調に工事の進展を願うところでありますが、それに併せて本年より「下水道事業」のプラン作成に取り組んで参ります。先般実施しましたアンケート調査を参考に、住民の意識がどの程度の理解の下にあるのかを知った上で、財源の確保に向けて具体的な計画案の作成など進めて参る所存です。一番の問題点は、受益者負担の程度であろうと思っておりますが、住民のご理解、ご協力を戴けることへの啓発も、新規に始めます「出前講座」などを通じてなすべきと考えております。

昨年一年間、「ラポールゆや」での対話の時間を持ちましたが当初、私が意図したものは少しニュアンスの違う、陳情的なものが多かったのが実情です。陳情も場合によっては大切な事柄もありますが、女性や若い層のご意見もぜひ聞きたいと

思いますので、今年には更に工夫したものを考えております。

また、国でも「男女共同参画」への立法化が図られる動きの中で、油谷町の女性の皆様にも、女性ならではの感性を生かし、これまでも増して町の発展のためにご尽力いただきますようどうぞよろしくお願い致します。

また、町民の生活におけるすべての事に関わっているのが町行政であり、どの年齢層にも出来るだけの行政サービスをと考えますが、特に高齢人口が年々増している現状から、お年寄りにとつての温かい施策が必要と考えます。そこで、まず今年四月から「シルバー人材センター」を開設するよう準備を進めております。高齢者の生きがい対策として必要度の高かった事業ですが、社会福祉協議会、商工会などのご尽力により、町の委託事業への期待なども受けてスター